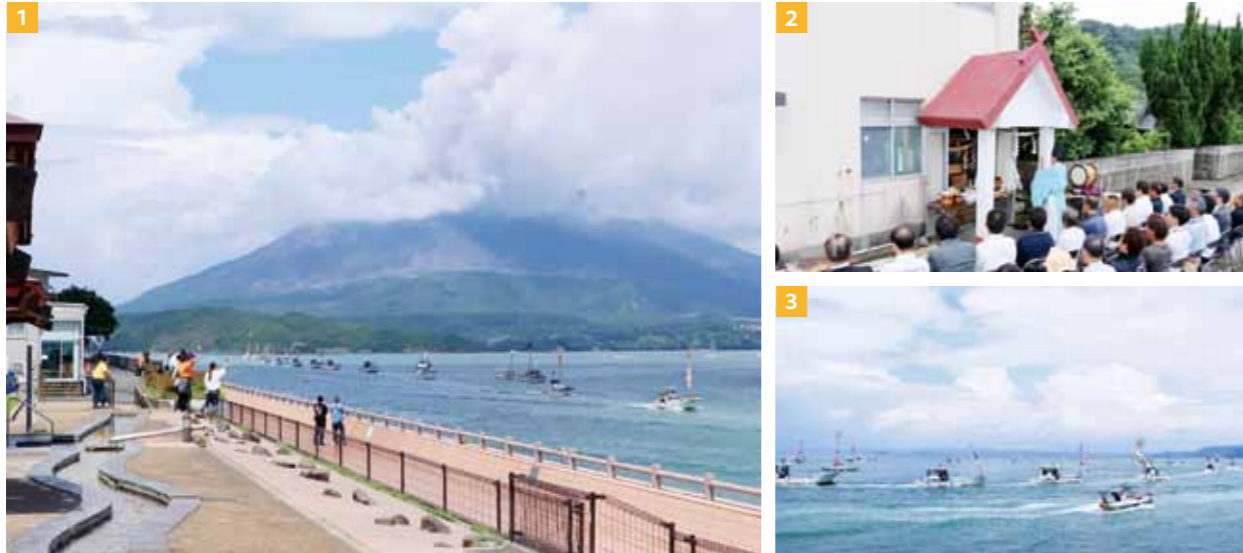


水産業の繁栄を祈願 恵比寿祭と漁船パレード



1 / 道の駅たるみず湯つり館前を航行する船団 2 / 恵比寿神社神事の様子 3 / 境沖で輪になって航行する船団

7月20日、海上の安全と水産業の繁栄、豊漁を祈願する恵比寿祭が行われました。これは、毎年、牛根漁業協同組合が行っているもので、牛根地区中央に位置する辺田観音、牛根境と浮津間の通称境崎の沖合と境地区にある恵比寿神社の3カ所で神事が行われます。当日、最後に神事が行われる恵比寿神社には、漁業関係者約30人が集まり、海の安全と豊漁をそれぞれ祈りました。また、翌週の27日には、荒天で延期となっていた漁船パレードが行われ、牛根麓から境漁港まで約40隻の船団が大漁旗を掲げ、勇壮に航行しました。沿岸にはたくさんの人々が集まり、声援を送りました。

7月27日、生活研究グループ連絡協議会垂水支部による夏の親子料理教室が垂水市市民館で開催され、20人の親子が参加しました。今回の料理教室では、「すいかのキラキラゼリー」、「白あえひじきの落とし揚げ」、「手作りめんつゆの夏野菜そうめん」の3品を作りました。参加者は、旬の食材をふんだんに使用した「夏の味」を楽しみ、親子の夏の思い出となりました。また、すいかを丸ごと使った特大ゼリーも登場し、会場全体から歓声があがりました。



親子料理教室
夏の思い出

認定水之上こども園へ (株) 銀河が法被贈呈



8月5日、認定水之上こども園で、市内建設業者の(株)銀河から夏祭り等の行事で使用する法被の贈呈がありました。今回贈呈された法被25着は、同園が水之上保育園から認定こども園への名称変更に伴う、法被の作り替えに際し、同社から贈られたものです。法被をもらった園児たちは、鮮やかな法被に大喜びの様子でした。また、贈呈式後は、この日園を訪れた同社・池田豊己代表取締役社長へ感謝状が贈られました。今回贈呈された法被は、今後、老人福祉施設や同園の夏祭りでお披露目されます。

都城東高校 マリパークでSUP体験



7月9日、都城東高校(宮崎県三股町)普通科スポーツコースの3年生11人がマリパークたるみずを訪れ、マリンスポーツを体験学習しました。同校では、自然体験型の野外運動の取組を進めており、今回その一環で体験学習が行われました。マリパーク施設内で、海の魅力や海で活動する上での注意事項などの講義を受け、その後、海に出てSUP(サップ)を体験し、海を十分に楽しみました。



7月23日、垂水市保護司会による社会を明るくする運動の街頭キャンペーンが、市内4カ所(タイヨー、だいわ、Aコープ、道の駅たるみずはまびら)で行われました。今年も垂水高校生徒会の協力で13人が参加し、保護司と4班に分かれ、それぞれの会場で、チラシやメッセージ入りのティッシュ等を手渡し、広報活動を行いました。垂水市保護司会では、現在、9名の保護司の方々が、犯罪や非行をした人達の立ち直りを支援する活動を行っています。



第69回社会を明るくする
運動キャンペーン